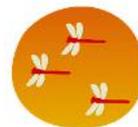




学年愛『あい』×3

～思いあい・I(自分)・あいさつ～



〔人権講演会〕

演題「パラリンピック、自分、生徒のみなさんに期待すること」

講師 日本パラリンピアンズ協会 会長 河合 純一 先生

10/7(月)に人権講演会として河合先生にご講演をいただきました。かつて日本代表として、多くのメダルを獲得された河合先生からご講演をいただくことで、夢を持ち続けることのすばらしさ、障害者に対するイメージや接し方などについて考える貴重な時間となりました。(生徒の振り返りより)

- 今日の講演を聴いて、夢をかなえるためには、その夢を持ち続け、さらに努力をし続けることが大切だとわかりました。何に対してもコツコツと努力し、夢の実現に一歩ずつ近づいていこうと思います。
- 車いすの人が2階に行きたいのに、スロープなどが無い、そのような場面での障害とは「社会」なのだと知りました。スロープが無いのはいけない、とは思ったけど、今まで「障害が社会にある」という考えはありませんでした。



【講演を行う河合純一先生】

〔13歳の自律教室〕

10/25(金)に13歳の自律教室として、香川県の警察本部、教育委員会、シンガーソングライターのmimikaさんら3名の方が講師としてお話をしてくださいました。14歳が大人への1つの大きな節目であることを知り、今の時期がいかに重要であるかということをお話いただきました。真剣なまなざしで聴いていたみなさんのこれからのさらなる成長を期待したいと思います。

(生徒の振り返りより)

- 大人に近づくにつれて、自由も広くなるけど責任も大きくなるから気をつけたい。法律だけを守るのではなく、公共の場でのマナーやルールも大切にしないといけないと感じました。
- 私は自律とは悪い心をもたずに、人を気づかう心をもって、悪いことと良いことがわかり、親切でいることだと思いました。自律があるから社会が成り立っていると思いました。



【13歳と14歳の違い、という質問に答える一場面】

〔校内文化祭にむけて〕

11月8日(金)に行われる校内文化祭に向けて、1年団も他の学年に負けなよう、一生懸命に合唱練習に取り組んでいます。

先日、初めて学年団全体での練習をあじさいホールで行いました。それぞれのパート練習の成果を十分に発揮できたところもありましたが、1年団の団結力はまだまだこんなものではないと思います。

文化祭当日には、聴いている人たちに1年団の最高の歌声を届けられるよう、お互いがなかまのことを「思いあい」しましょう。そして全員が1年団のすばらしさが表現できた、団結が深まったと自信を持って言える合唱をつくりあげてほしいと思います。



保護者の皆さまへ

平素より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、たいへんありがとうございます。

1年団の生徒は文化祭に向けて、帰りの会を昼休みに行き、合唱練習の時間にあてたり、パートリーダーがなかまたちへアドバイスしたりして、少しでもいい歌をつくろうと日々励んでいます。

11/8(金)の文化祭では、ぜひお子さまの精いっぱい歌う姿をご覧になったり、1年団の団結した歌声を聴いていただけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。